

平成29年度

コミュニティ・スクールの導入を目指して

- 保護者・地域との連携・協働 -



八幡平市立寄木小学校

コミュニティ・スクールとは？

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置している学校のことを指します。学校運営協議会は、学校・保護者・地域の代表で構成されます。

寄木小学校は、平成30年度に学校運営協議会を設置しコミュニティ・スクールに移行するために、平成29年度に様々な準備を進めているところです。



寄木小学校コミュニティ・スクールで行うこと

1 校長が作成する学校運営の基本方針について、承認を行います。

学校の育てたい子ども像と、地域で育てたい子ども像を共通のものにします。

2 より良い寄木っ子たちに育てるために、学校運営の実際や教育活動について意見を出し合います。

目指している子どもたちの姿になっているかどうか意見を出し合い、学校と地域、それぞれでできることを考えていきます。

3 これまでと同様に、寄木地区のみなさんの力を生かして、子どもたちとふれあう豊かな教育を進めていきます。

子どもたちの個性を伸ばし、地域の宝となる人材を育成していきます。

コミュニティ・スクールの魅力

子どもたちにとっての魅力

- ◆ 学びや体験活動が充実します。
- ◆ 自分自身を大切にする心や他人を思いやる心が育ちます。
- ◆ 地域の担い手としての自覚が高まります。
- ◆ 防犯・防災等の対策により、安心・安全な生活ができます。

地域の方々にとっての魅力

- ◆ 経験を生かすことで、生きがいや自己有用感を実感することができます。
- ◆ 学校が地域のよりどころになるなど、地域のネットワークが形成され、地域の活性化が図られます。
- ◆ 地域の防犯・防災体制等の構築が図られます。

保護者にとっての魅力

- ◆ 学校や地域に対する理解が深まります。
- ◆ 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感が高まります。
- ◆ 保護者同士や地域の方々との人間関係が構築されます。

教職員にとっての魅力

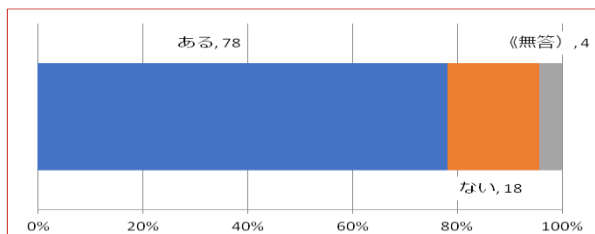
- ◆ 地域の理解と協力を得た学校運営が実現します。
- ◆ 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- ◆ 地域の協力により、子どもと向き合う時間が確保できます。

寄木地区民 意識調査

- ◆ 目的 寄木地区民の願いを受けた「開かれた学校づくり」を進め、より望ましい形でコミュニティ・スクール導入を行うことができるようにする。
- ◆ 実施期間 平成29年10月
- ◆ 対象 寄木地区の皆様
- ◆ 回答者数 114名

設問1(1) 寄木小学校の子どもたちについて、よいと感じていることがありますか。

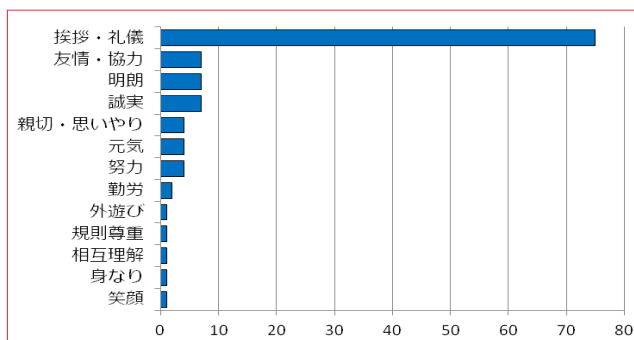
よいと感じていることがある	89人
よいと感じていることがない	20人
(無答)	5人



提出された方のうち、8割弱の方が寄木っ子たちの「よさを感じている」という回答でした。

設問1(2) 寄木小学校の子どもたちのよいと感じていることがあれば教えてください。

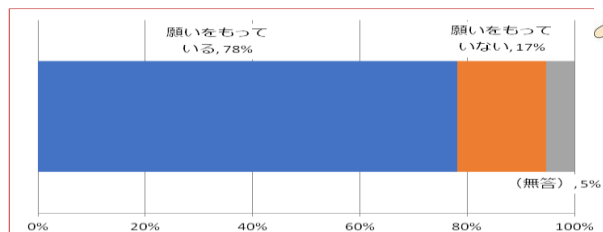
あいさつ・礼儀正しい	75人
協力できる・仲がよい	7人
明るく朗らか	7人
素直で誠実	7人
親切で思いやりがある	4人
元気がよい	4人
よくがんばっている	4人
その他	7人



75名(全体の65%)が感じている寄木っ子たちのよさは「あいさつがよくできる」「礼儀正しい」ということでした。

設問2(1) 寄木小学校の子どもたちについて、このように育ってほしいという願いをもっていますか。

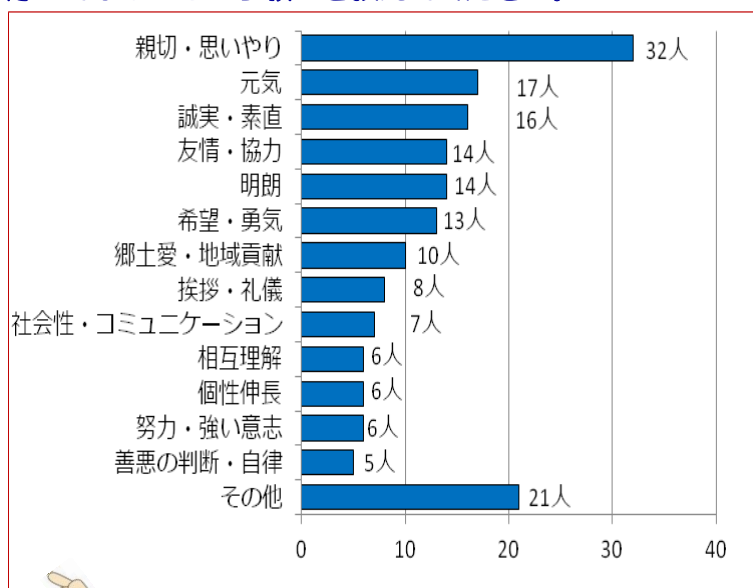
願いをもっている	89人
特に願いはもっていない	19人
(無答)	6人



提出された方のうち、8割弱の方が寄木っ子たちに「『このように育ってほしい』という願いをもっている」という回答でした。

設問2(2) 寄木小学校の子どもたちがこのように育ってほしいという願いを教えてください。

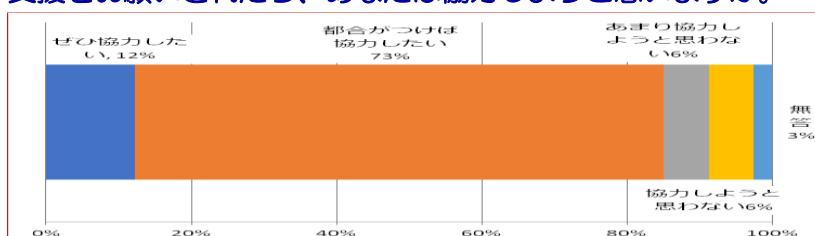
親切で思いやりをもった子に	32人
元気な子に	17人
素直で誠実な子に	16人
友だちを大切に協力できる子に	14人
明るく朗らかな子に	14人
夢をもち進んで行動する子に	13人
郷土愛をもち地域貢献する子に	10人
挨拶ができ礼儀正しい子に	8人
適切なコミュニケーションのできる子に	7人
いじめをせず他者を理解する子に	6人
長所を伸ばし個性豊かな子に	6人
強い意志でやり遂げる子に	6人
善悪の判断ができ行動する子に	5人
その他	21人



様々な願いが寄せられ、地域の皆様の子どもたちへの期待を強く感じる事ができました。子どもらしい明るさに加えて、望ましい社会性をもつこと、郷土や地域を大切にすることなど、「社会貢献を行うことができる子に育ってほしい」という内容の願いが多く寄せられたように思います。

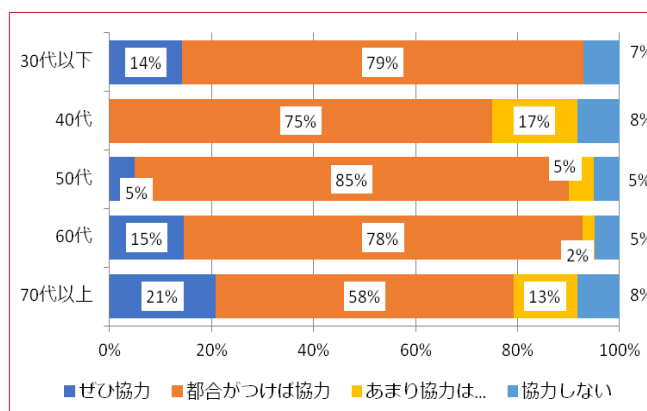
設問3 (1) 寄木小学校の教育活動への参加や支援をお願いされたら、あなたは協力したいと思いますか。

ぜひ協力したい	14人
都合がつけば協力したい	83人
あまり協力しようと思わない	7人
協力しようと思わない	7人
(無答)	3人



★ 「協力するかどうか」について
年代別に見た結果

	ぜひ協力	都合がつけば	あまり協力は	協力しない
30代以下	14%	79%	0%	7%
40代	0%	75%	17%	8%
50代	5%	85%	5%	5%
60代	15%	78%	2%	5%
70代以上	21%	58%	13%	8%



★ 「協力しようと思う」主な理由

● 地域の学校だから、自身の(家族の)母校だから	24人
● (自身の)元気になるから、生きがいになるから	8人
● 子どもたちのためになるから、子どもたちに豊かな経験を与えられるから	8人
● 地域の活性化につながるから、子どもたちの声が無くなると寂しく感じられるから	6人
● 参加することで子どもたちのことがよく分かるから、学校のことがよく分かるから	4人
● その他(子どもたちが可愛らしいから、当然のことだから等)	5人

★ 「協力しようと思わない」主な理由

● 体力に不安があるから、老齢のため体が不自由だから	5人
● その他(多忙だから、縁故者がいないから、興味がないから、家族の理解が得られないから等)	5人

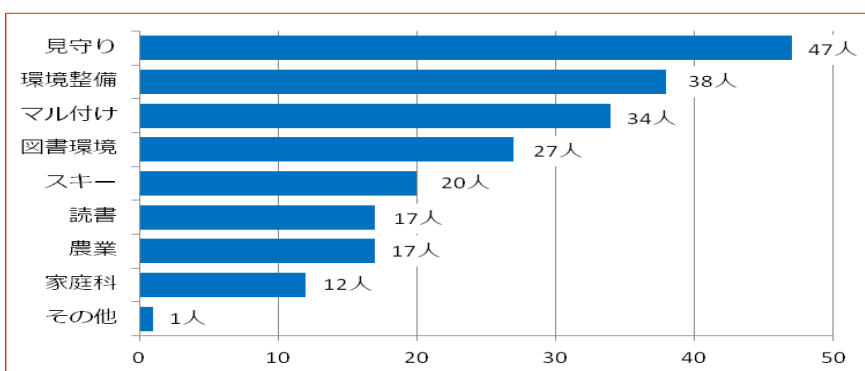


合わせて85%の方が「協力しようと思う」と回答されました。大変心強く感じています。年代別に見ると、50代以降の方の参加意欲が高いようにも思われました。可否の理由に目を向けると、「地域の学校」という義務感に加えて、自身や地域の向上に目を向けた意見も大変多く、寄木地区民の皆様の意識の高さがうかがわれました。

今後、コミュニティ・スクールづくりに向けて、参加される方や地域にとっても十分に資することができるような学校運営を心がけていきたいと考えております。

設問3 (2) もし協力する場合(あるいは協力している場合)、どのような内容のものをご希望されますか。

登下校時の見守り	47名
校庭等の環境整備	38名
マル付けの支援	34名
図書環境	27名
スキーの指導等	20名
読み聞かせ	17名
農業の指導	17名
家庭科の支援	12名
その他(スキーや陸上の指導)	1名



設問4 寄木小学校の教育に対する願いやご意見、ご要望等があれば教えてください。

「子どもたちに対する願い」と同じような内容のご意見、ご要望が多かったように思います。また、「これまで通りでよい」とした上で「もっと地域の人が参加できる行事を」「剣舞や鼓笛などの伝統を大切に」など、たくさんのご提言もいただきました。学校からの情報発信(校報等)につきましても、大変肯定的なご感想をたくさんいただきましたので、今後も「地域とともにある学校=コミュニティ・スクール」を目指して、努力してまいります。

寄木っ子たちのために、保護者・地域の皆様のたくさんのご参加をお待ちしております。